



狛江市議会議員

2017. 1・10

山本あき子の議会報告

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

<一般質問>

◇児童虐待 SOS に気づく地域社会

2016年3月までの1年間で全国の児童相談所が把握した虐待件数は過去最多、およそ10万3千件です。

【狛江の現状】

27年度の被虐待相談件数は子ども家庭支援センターで33件。世田谷児童相談所で39件。通報を受けると子育て支援課と子ども家庭支援センターが初期調査と受理会議で方針を決定。家庭訪問の後必要があれば一時保護を視野に入れ世田谷児童相談所と連携し支援を行います。再発防止のために見守りサポート事業や来所・訪問による指導、在宅サービスの活用なども実施しています。**虐待の未然防止と早期発見に向けては、地域での見守り、関係機関や市民に対する周知啓発、気軽に相談できる環境づくりが重要**との答弁がありました。積極的に取り組んでほしいと思います。

虐待の背景には貧困や孤立などが考えられますが、本当に困っている時、相談窓口に来て、困り事を言葉にできるでしょうか。**子どもの、そして親の、声なきSOSに気づける地域社会を作る**ために、子育てをひとりだけで背負わなくてもよいことを共有していく必要があります。

【児童相談所はどうなる？】

現在、東京都にある7ヶ所の児童相談所はすべてが複数の区や市を管轄していますが、児童福祉法の改正によって特別区(東京23区)は児童相談所を設置できるようになりました。国が設置を拡大した背景には目安とされてきた「人口50万人に1ヶ所」では増加を続ける虐待相談に対応できないことがあります。世田谷児童相談所が世田谷区に移管された場合、狛江市の児童相談所行政はどうなるのでしょうか。今後の計画は白紙との事ですが、**市は虐待支援を行う中心的機関として責任を自覚し体制の強化に取り組むべきです。**

◇LGBT から SOGI へ

～性指向・性自認の多様性を認め合うために

一昨年12月の一般質問で、初めて「LGBT」という言葉を出してからちょうど一年が経ちました。市では人権週間にLGBTについてのパネル展示を市役所で行い、LGBTへの理解を示すレインボーフラッグも掲示されました。啓発冊子に当事者の声を反映させて理解促進へとつなげる予定だそうです。**多岐にわたる相談や要望(戸籍・結婚・住居・保険証など)に対し嘱託職員も含め研修し、窓口において全庁的に対応できる環境を整えるとの答弁**でした。

【SOGI 学校での取組】

SOGIとは性指向・性自認を表す言葉で、LGBTという人々に着目するのではなく**性の構成要素とその多様性をみんなで共有していこうという考え方**です。正しい情報発信や相談体制の充実はもちろん、カミングアウトするかしないかも当事者の意思が最も尊重されるべきであり、他者からのアウティングが起きないように体制を整えるよう要望しました。国や都からの通知文や資料を参考に、学校での制服・髪型・更衣室・トイレについての要望にも対応していくとのことでした。**内的欲求に基づいた自己実現を支えるのが教育の役割であり、多面的な自己理解と他者理解を深めながらお互いを尊重しあう為に、SOGIは貴重な視点であるとの教育長の答弁がありました。**

※性的虐待、暴力と性搾取、JKビジネスについてはHPをご覧ください。

狛江・生活者ネットワーク

狛江市東和泉 1-1-25-101

TEL03-3430-1302 fax 03-5761-0678

E-mail

komanet.seikatusya@nifty.com